2021年5月号

ウトナイ湖通信

No.204

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 発行

トピックス

夏鳥が続々と到着します

冬の間、越冬地で過ごしていた夏鳥が、繁殖のため北海道に渡ってくる季節となりました。

ウトナイ湖通信４月号に続き、渡ってくる夏鳥をご紹介します。また、これからの季節は渡ってきた夏鳥も、１年中見られる留鳥も大事な子育ての季節になります。観察の際は野鳥を驚かせることのないよう静かに、距離を保って観察してください。春から夏にかけては、オスが縄張りの主張やメスへのアピールで出す美しい声「さえずり」も聞くことができます。

ノビタキ（絵はオス）

チョ
ピチュ
ピチー

クロツグミ（絵はオス）

キョロン・キョロン
チヨコ、チヨコ

メジロ

チーチュル！
チー、チー！
チーチュル！
チー、チー！

ヤブサメ

シー、シー
シー、シー

オオジュリン
（絵はオス）

チュッ・チッ・チィ
チュッ・チッ・チッ

センダイムシクイ
昨年は 5/1 に初認

チヨ・チヨ
ビー！

キビタキ（絵はオス）
昨年は 5/1 に初認

ピュリリ！
ホーヒッヒー
ホーヒッヒー
ホー

アカハラ（絵はオス）
昨年は 5/2 に初認

キョロン
キョロン
ツィー

コサメビタキ
昨年は 5/5 に初認

チョッ・チー・チー
チュルルー・チュルル―
チリリ・ルルル
キュルキュル・・・

ノゴマ（絵はオス）
昨年は 5/8 に初認

リリ
チョロチリ
チョロッチリ

ツツドリ
昨年は 5/9 に初認

ポポー
ポポポー
（筒をたたくような音）

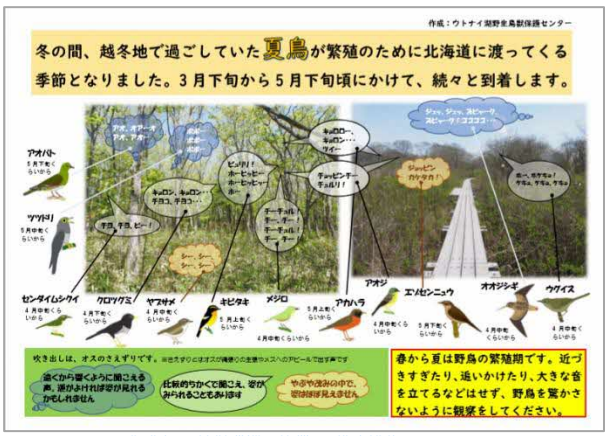
エゾセンニュウ
昨年は 5/28 に初認

ジョッ！
ジョッピン！
カケタッ！

※レンジャーがそのシーズンに渡り鳥を初めて確認した日を「初認日」と呼びます。
※吹き出しの中は、オスの出す「さえずり」の声です。

ウトナイ湖の自然観察路で夏鳥を観察されたい方へ

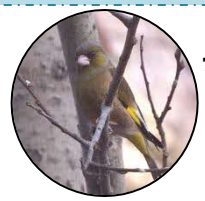
ウトナイ湖周辺に渡ってきた夏鳥が、自然観察路のどのような場所を好むのか、姿を見つけやすいか、どのあたりで声が聞こえるかなどの夏鳥についてまとめた解説板を、館内受付付近とセンター玄関外のガラスに掲示中です。ぜひ、自然観察路に行かれる前にご覧ください。



フィールドノート

【自然観察路情報】観察された生きもの

2021 年 4 月 13 日（火）10：00～11：10



カワラヒワ（オス）

≪野鳥≫ カワラヒワ、マヒワ、ハシブトガラ、シジュウカラ
ゴジュウカラ、アカゲラ、ヒヨドリ、トビ、オジロワシ

≪植物≫【花】ナニワズ、アキタブキ、バッコヤナギ、イヌコリヤナギ、種不明ヤナギ
【つぼみ】フッキソウ、エゾニワトコ　【葉】ホザキシモツケ、キジムシロ、種不明スミレ

≪その他≫アカヤマアリ、クロヤマアリ、セイヨウオオマルハナバチ、エゾシカの足跡
ホコリタケ

【水鳥カウント調査結果】　2021 年 4 月 15 日（木）　15：00～16：00

観察された水鳥、ワシ・タカ類　＊（）内は個体数

コブハクチョウ（2 羽）、コハクチョウ（10 羽）、オオハクチョウ（1 羽）、ヨシガモ（7 羽）、マガモ（4 羽）、コガモ（1 羽）、ホオジロガモ（1 羽）、ミコアイサ（2 羽）
カワアイサ（8 羽）、カンムリカイツブリ（2 羽）、オジロワシ（2 羽）

ミコアイサ♂

カワアイサ♂

5月の自然予報

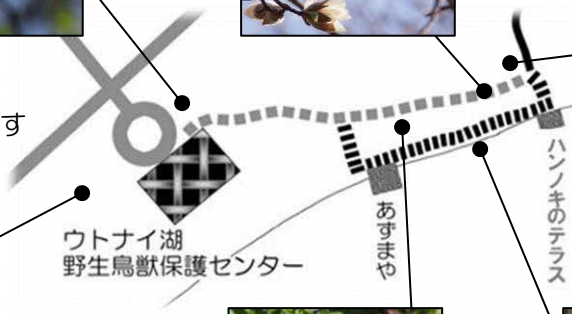
春の花が咲き始めるでしょう

5 月に、野生鳥獣保護センターからバリアフリー観察路（1 周約 500m）で見られる可能性のある花

エゾヤマザクラ↑
（ピンクの花）
葉も一緒にでてきます

←キタコブシ（白い花）
直径 10ｃmほどの大きめの花

↑キジムシロ（黄色の花）
直径２ｃmほどの花が地面に見られます



↑フデリンドウ（青紫色の花）
花の長さが 2cm ほどで、とても小さいです。芝生などで見られます。

↑ハルザキヤマガラシ
（黄色の花）
小さな花がたくさんついています。

↑イヌコリヤナギ
（紫色の花）
細長く伸びたふわふわした花

チョウも見られるかもしれません。
写真左：オレンジ×黒色のベニシジミ
写真右：薄緑色のモンキチョウ（春型）

ウトナイ湖やその周辺では、生きもの（動植物、昆虫、魚類等）の採取はできません。

ウトナイいきもの図鑑

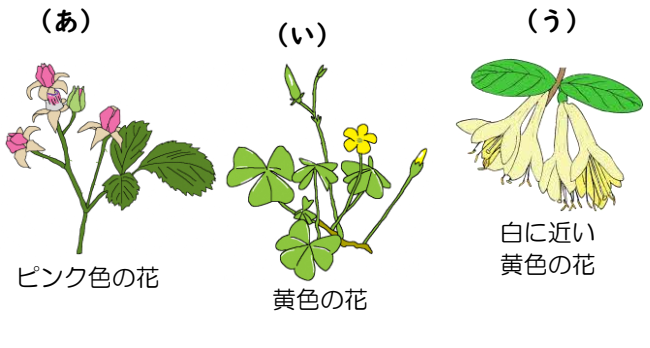
【エゾシマリス】

頭胴長約 12～15cm、尾は約 11cm。
冬は冬眠しているため見られない。
ウトナイ湖では 3 月～11 月中旬ごろまで見られる。林の自然観察路で、木に登り植物の実を食べる姿や、木道を走っている姿が見られることがある。

ウトナイ検定

*ウトナイ湖に関するクイズ
毎回、その月にあわせたテーマで出題しています。
あなたもウトナイ博士になれる？かも。

Q.苫小牧や周辺地域で有名な果実「ハスカップ」。
その花が、例年5月に咲きます。
さて、3つのうちどの花でしょうか？



ヒント：花が終わると実になります。実になった時の形を想像してみてください。

答えは最後のページです。

傷病鳥獣ルームから

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺（苫小牧市行政区域内）において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をみなさまに知っていただくコーナーとして、ここでご紹介いたします。

イスカ

１１月　１７日

原因：窓ガラス衝突

初診時の様子

１１月５日
↓
１１月７日
リリース

１６：００頃、市内にある会社敷地内の建物の窓ガラスに衝突し、飛べずにいるところを保護され、同日、保護センターへ搬送。初診にて、明らかな外傷は認められなかったものの、膨羽（ぼうう：羽を膨らませている状態で、寒さや体調不良の際等に見られるサインの一つ）をしており、保温しながら経過観察。身体に異常認めず、飛翔も十分であることから後日リリースとなる。

イスカ（ スズメ目 アトリ科 ）

全長１７ｃｍ。１年を通じ、北海道内で生息しています。主に山地の針葉樹林でくらしていますが、冬季になると平地へ漂行します。マツ類の種子や芽を採食します。先端がくいちがったくちばしは、松かさ（松ぼっくり）の鱗片をこじ開けて、中の種子を食べる食べるために特殊化したものです。

イベント情報

ウトナイ湖・春のウォークラリー

1周約500mの自然観察路に設置された、自然に関するクイズに挑戦いただくイベントです。参加賞もご用意しております。

日　時：4月29日（木・祝）、5月1日(土) ～ 5日(水・祝)

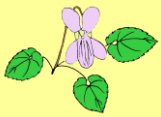
受　付：午前の部 10:00～11:30、午後の部 13:00～14:30　（受付は10分ごととなります。）

参加方法：当センター正面の外壁面に設置された【整理券】をお取りいただき、そこに記載された時間に、館内受付へお越しください。※整理券は当日のみ有効となります。

内　容：館内で受付後、自然観察路に設置されたクイズに挑戦いただきます。
クイズ終了後は館内で答え合わせ後、参加賞をお受け取りください。

参加費：無料　/ **対　象**：どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

定　員：各日 午前の部：10組、午後の部10組



イベント情報

アイロンビーズで身近な野鳥を作ろう　～夏鳥編～

日　時：5月22日（土）午前の部 11:00～、午後の部14:00～

内　容：小さなパイプ状のビーズを専用のプレートにならべ、
アイロンの熱でビーズを溶かし接着して野鳥のデザインを作ります。

参加費：無料 / **対　象**：どなたでも（小学生以下は保護者同伴）/ **定　員**：4組

申込期間：5/1～5/21　（定員になり次第受付終了）/ **申込方法**：電話にてお申し込みください。

市民ギャラリー

第17回　野鳥展(海鳥)

日時：5月9日（日）～5月30日（日）

展示：笠水上 徹明 氏

内容：海鳥の写真の展示です。

お知らせ

大型連休中(GW)の開館について

4月29日（木・祝）～5月5日（水・祝）は開館します。5月6日（木）は休館日です。

◆ウトナイ湖◆

周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。

鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。このためウトナイ湖は、国指定鳥獣保護区特別保護地区、ラムサール条約湿地、東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークに指定、登録されています。

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆

環境省が「野生鳥獣との共生環境整備事業」により建設し、苫小牧市と共同管理する施設です。

また、苫小牧市が業務の一部を（公財）日本野鳥の会に委託しています。

【利用案内】

〒059-1365　苫小牧市植苗156-26　　TEL.0144-58-2231 / FAX.0144-51-8600

入館無料 / 開館時間：午前9時～午後5時 / 休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）及び年末年始

答え：（う）
白に近い黄色で、垂れ下がるように咲くのがハスカップ（クロミノウグイスカグラ）の花です。湿地を好むため、ウトナイ湖を含む勇払原野で見られます。（あ）はナワシロイチゴ、（い）はカタクリ、の花でした。